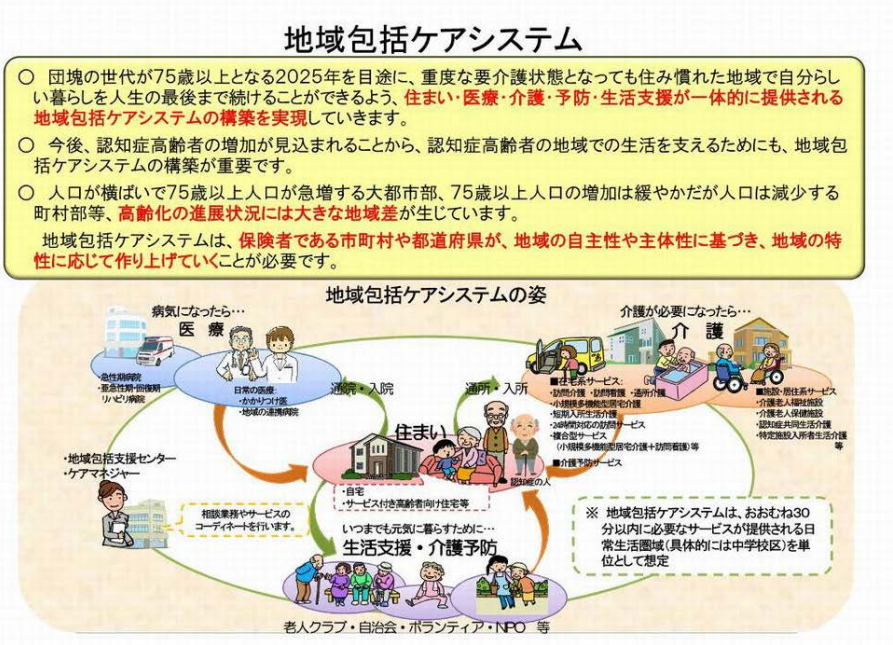
県西地域の看護職の皆さんへ

宮崎県看護協会専門認定看護師委員会　県西地域研修会（第 2 回）

「スペシャリストと考える〝地域でつながるケア〟の研修会」

～住み慣れた地域で暮らし続けるために～

平成 30 年度は、県西地域で活動する専門・認定看護師が中心となり、人生の最期まで住み慣れた地域で暮らし続けるために、目の前の『患者』という視点から、『地域でこれまでを生き、これからを生きていく人』に焦点を当てたケアを考える研修を開催しました。今回はその 2 回目になります！今年も施設や、専門分野の垣根を越えて、「つながるケア」を基礎から学び、考えてみませんか？

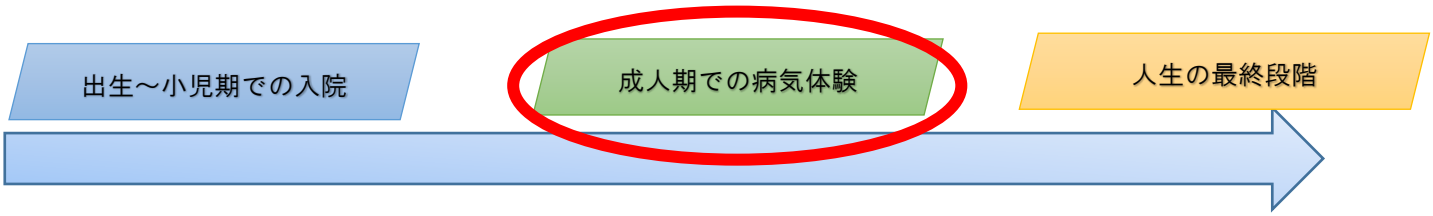


※　県西地域（都城市・北諸県・小林市・えびの市・西諸県）には、24 名の専門・認定看護師が活動しています。　専門看護師 3 名（がん看護）、認定看護師 21 名（感染管理 5 名、救急看護 4 名、皮膚排泄ケア 3 名、緩和ケア 2 名、集中ケア 1 名、手術看護 1 名、新生児集中ケア 1 名、脳卒中リハビリテーション看護 1 名、がん性疼痛看護 1 名、がん化学療法看護 1 名、訪問看護 1 名）のスペシャリストが活動しています。

☆　この研修では、地域で暮らす人の『人生』に焦点を当てケアを考えていきます。

第 1 回（平成 30 年度）は、「低体重で出生した A さんが、肺炎や熱性けいれんを繰り返しながら、成長しヘルニア嵌頓で手術を受ける」までの経過を通して、A さんが、地域で暮らしていくにはどのようにケアをつなげばよいか考えました。第 2 回となる今回は、その A さんの成人期の病気体験に焦点をあてます。

講師は、吉村梢（救急看護認定看護師：藤元総合病院）、永迫さゆり（皮膚排泄ケア認定看護師：小林市立病院）、宮崎雄一（脳卒中リハビリテーション看護認定看護師：都城市郡医師会病院）が担当します。



A さんがこれまでどのような人生を送り、どのような病気体験をしてきたのか、現在どのように「病い」と向き合っているのかを知ることにより、臨床の目の前の患者さんのこれまでとこれからにどのように関わればよいか、ヒントが見つかると思います！ご自身の体験にもつながるヒントもあると思います。今後は、人生の最終段階に向かう A さんの地域でつながるケアを考える研修会を開催予定です。お楽しみに！

日時：令和元年 9 月 6 日金曜日　18：55～20：30（受付開始 18：30）

会場：都城市総合文化ホール MJ　会議室 1（創作練習棟）

〒885-0024 宮崎県都城市北原町 1106 番地 100　TEL:0986-23-7140

専用の申込用紙で、お申し込みください。多くの方の参加をお待ちしております。